

性能試験成績証明書

試験結果より当該申請金物が平成12年建設省告示1460号第2号表3に定めるもの※（必要耐力10.0kN）と同等以上の基準耐力を有することを認める

※（ハ）厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト2本、横架材、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの

試験名称	耐力壁が取り付く柱の仕口（中柱型）引張試験
依頼者	株式会社 カナイ 所在地 : 埼玉県八潮市西袋717-1 連絡先 : 048-924-1131
試験体	1. 接合金物 商品名 : スピリットホールダウンSPH-10 寸法 : 図2.1、図2.2参照 材質 : SGHC Z27 (JIS G 3302) 2. 接合具 柱側 : ドリフトピン $\phi 12.0 \times 102$ 1本 材質 : SWRM6 (JIS G 3505) 横架材側 : 皿頭スクリューねじ $\phi 6.0 \times 90$ 4本 材質 : SWRCH18A (JIS G 3507) 3. 使用軸組 柱 : 105×105×600mm 構造用集成材SPF（スプルース） E95-F315 積層数5 横架材 : 105×105×900mm 構造用集成材SPF（スプルース） E95-F315 積層数5 4. 試験体数 : 7体（うち1体は予備試験体） 試験体の形状・寸法は図3.1、図3.2参照
試験方法	「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」に基づく （監修：国土交通省住宅局建築指導課，国土交通省住宅局木造住宅振興室）
試験結果	短期基準接合耐力 14.6kN
試験実施日	平成15年 12月10日、11日
担当者	研究員 中山一孝 技術員 木下 茂 技術員 亀山ジョージ 技術員 千葉 博
試験実施場所	電源開発株式会社 技術開発センター 茅ヶ崎研究所 建設材料実験棟
備考	・試験使用軸組には柱、横架材とも構造用集成材を用いている

証明書発行番号	HP03-KT030
証明書発行年月日	平成15年 12月 24日
証明書発行者	ハウスプラス住宅保証株式会社 （国土交通大臣指定住宅性能評価機関第16号） （国土交通大臣指定確認検査機関第9号）



ハウスプラス住宅保証株式会社



性能試験成績証明書

試験結果より当該申請金物が平成12年建設省告示1460号第2号表3に定めるもの※（必要耐力10.0kN）に該当する基準耐力を有することを認める

※（へ）厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト2本、横架材、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの

試験名称	耐力壁が取り付く柱の仕口（隅柱型）引張試験
依頼者	株式会社 カナイ 所在地 : 埼玉県八潮市西袋717-1 連絡先 : 048-924-1131
試験体	1. 接合金物 商品名 : スピリットホールダウンSPH-10（出隅） 寸法 : 図2.1、図2.2参照 材質 : SGHC Z27（JIS G 3302） t=3.2 表面処理 : 粉体電着塗装（黒色） 2. 接合具 皿頭スクリューねじ : $\phi 6.0 \times 90$ 4本 材質 : SWRCH18A（JIS G 3507） 表面処理 : Ep-Fe/Zn 5（JIS H 8610）、ペーキング 黒色 ｸﾞﾗﾌﾞﾙｰﾄﾞ処理 スリムピン : $\phi 12 \times 90$ mm 1本 材質 : SWRM6（JIS G 3505） 表面処理 : 電気亜鉛めっき（JIS H 8610） 3. 使用軸組 柱 : 105×105×600mm 構造用集成材SPF（スプルース）E95-315 5層 土台（横架材） : 105×105×500mm 構造用集成材SPF（スプルース）E95-315 5層 4. 試験体数 : 7体（うち1体は予備試験体） 試験体の形状・寸法は図3.1、図3.2参照
試験方法	「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」に基づく （監修：国土交通省住宅局建築指導課，国土交通省住宅局木造住宅振興室）
試験結果	短期基準接合耐力 12.6kN
試験実施日	平成18年1月25日、26日
試験実施場所	電源開発株式会社 技術開発センター 茅ヶ崎研究所 建設技術実験棟
担当者	研究員 中山一孝 試験員 伊藤和幸 試験員 原 孝志 試験員 鈴木香澄 試験員 森 大彦
備考	

証明書発行番号	HP06-KT007
証明書発行年月日	平成18年3月31日
証明書発行者	ハウスプラス住宅保証株式会社 （国土交通大臣登録住宅性能評価機関 国土交通大臣第4号） （国土交通大臣指定確認検査機関第9号）



ハウスプラス住宅保証株式会社



性能試験成績証明書

試験結果より当該申請金物が平成12年建設省告示1460号第2号表3に定めるもの※（必要耐力15.0kN）と同等以上の基準耐力を有することを認める

※（と）厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト3本、横架材（土台を除く）、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの

試験名称	耐力壁が取り付く柱の仕口（中柱型）引張試験
依頼者	株式会社 カナイ 所在地 : 埼玉県八潮市西袋717-1 連絡先 : 048-924-1131
試験体	1. 接合金物 商品名 : スピリットホールダウンSPH-15 寸法 : 図2.1、図2.2参照 材質 : SGHC Z27 (JIS G 3302) 2. 接合具 柱側 : ドリフトピン $\phi 12.0 \times 102$ 2本 材質 : SWRM6 (JIS G 3505) 横架材側 : 皿頭スクリューねじ $\phi 6.0 \times 90$ 8本 材質 : SWRCH18A (JIS G 3507) 3. 使用軸組 柱 : 105×105×600mm 構造用集成材SPF (スプルース) E95-F315 積層数5 横架材 : 105×105×900mm 構造用集成材SPF (スプルース) E95-F315 積層数5 4. 試験体数 : 7体（うち1体は予備試験体） 試験体の形状・寸法は図3.1、図3.2参照
試験方法	「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」に基づく （監修：国土交通省住宅局建築指導課，国土交通省住宅局木造住宅振興室）
試験結果	短期基準接合耐力 19.1kN
試験実施日	平成15年 12月11日、12日
担当者	研究員 中山一孝 技術員 木下 茂 技術員 亀山ジョージ 技術員 千葉 博
試験実施場所	電源開発株式会社 技術開発センター 茅ヶ崎研究所 建設材料実験棟
備考	・試験使用軸組には柱、横架材とも構造用集成材を用いている

証明書発行番号	HP03-KT031
証明書発行年月日	平成15年 12月 24日
証明書発行者	ハウスプラス住宅保証株式会社 （国土交通大臣指定住宅性能評価機関第16号） （国土交通大臣指定確認検査機関第9号）



ハウスプラス住宅保証株式会社



性能試験成績証明書

試験結果より当該申請金物が平成12年建設省告示1460号第2号表3に定めるもの※（必要耐力15.0kN）に該当する基準耐力を有することを認める

※（と）厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト3本、横架材（土台を除く）、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したものの

試験名称	耐力壁が取り付く柱の仕口（隅柱型）引張試験
依頼者	株式会社 カナイ 所在地 : 埼玉県八潮市西袋717-1 連絡先 : 048-924-1131
試験体	1. 接合金物 商品名 : スピリットホールダウンSPH-15（出隅） 寸法 : 図2.1、図2.2参照 材質 : SGHC Z27（JIS G 3302） t=3.2 表面処理 : カチオン電着塗装（黒色） 2. 接合具 皿頭スクリューねじ : $\phi 6.0 \times 90$ 8本 材質 : SWRCH18A（JIS G 3507） 表面処理 : Ep-Fe/Zn 5（JIS H 8610）、ペーキング 黒色 カチオン処理 スリムピン : $\phi 12 \times 90$ mm 2本 材質 : SWRM6（JIS G 3505） 表面処理 : 電気亜鉛めっき（JIS H 8610） 3. 使用軸組 柱 : 105×105×600mm 構造用集成材SPF（スプルース）E95-315 5層 土台（横架材） : 105×105×500mm 構造用集成材SPF（スプルース）E95-315 5層 4. 試験体数 : 7体（うち1体は予備試験体） 試験体の形状・寸法は図3.1、図3.2参照
試験方法	「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」に基づく （監修：国土交通省住宅局建築指導課，国土交通省住宅局木造住宅振興室）
試験結果	短期基準接合耐力 15.7kN
試験実施日	平成18年1月25日、27日
試験実施場所	電源開発株式会社 技術開発センター 茅ヶ崎研究所 建設技術実験棟
担当者	研究員 中山一孝 試験員 伊藤和幸 試験員 原 孝志 試験員 鈴木香澄 試験員 森 大彦
備考	

証明書発行番号	HP06-KT008
証明書発行年月日	平成18年3月31日
証明書発行者	ハウスプラス住宅保証株式会社 （国土交通大臣登録住宅性能評価機関 国土交通大臣第4号） （国土交通大臣指定確認検査機関第9号）



ハウスプラス住宅保証株式会社



性能試験成績証明書

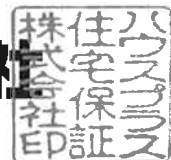
試験結果より当該申請金物が平成12年建設省告示1460号第2号表3に定めるもの※（必要耐力30.0kN）と同等以上の基準耐力を有することを認める

※（ぬ）（と）に掲げる仕口を2組用いたもの

試験名称	耐力壁が取り付く柱の仕口（中柱型）引張試験
依頼者	株式会社 カナイ 所在地 : 埼玉県八潮市西袋717-1 連絡先 : 048-924-1131
試験体	1. 接合金物 商品名 : SPH-30（柱頭タイプ） 寸法 : 図2.1、図2.2参照 材質 : SPHC t3.2（JIS G 3131） 2. 接合具 ドリフトピン : φ12×90 4本 材質 : SWRM 8（JIS G 3505） スクリーねじ : φ6×90 6本 材質 : SWRCH18A（JIS G 3507） 丸座金 : SPHC t4.5（JIS G 3131）1個 六角ナット : M16（JIS B 1180）1個 座金付ボルト : 座金 SPHC t9.0（JIS G 3131） ボルト（SS400） 1本 寸法 : 図2.3参照 3. 使用軸組 柱 : 105×105×550mm 構造用集成材 土台 : 105×150×1000mm 構造用集成材 4. 試験体数 : 7体（うち1体は予備試験体） 試験体の形状・寸法は図3.1、図3.2参照
試験方法	「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」に基づく （監修：国土交通省住宅局建築指導課，国土交通省住宅局木造住宅振興室）
試験結果	短期基準接合耐力 37.4kN
試験実施日	平成16年12月24日
試験実施場所	電源開発株式会社 技術開発センター 茅ヶ崎研究所 建設材料実験棟
担当者	研究員 中山一孝 技術員 木下 茂 技術員 鈴木香澄 技術員 島崎 諒 技術員 千葉 博
備考	・試験使用軸組には構造用集成材を用いている
証明書発行番号	HP04-KT060
証明書発行年月日	平成17年 1月12日
証明書発行者	ハウスプラス住宅保証株式会社 （国土交通大臣指定住宅性能評価機関第16号） （国土交通大臣指定確認検査機関第9号）



ハウスプラス住宅保証株式会社



性能試験成績証明書

試験結果より当該申請金物が平成12年建設省告示1460号第2号表3に定めるもの※（必要耐力20.0kN）に該当する基準耐力を有することを認める

※（ち）厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト4本、横架材（土台を除く）、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの

試験名称	耐力壁が取り付く柱の仕口（隅柱型）引張試験
依頼者	株式会社 カナイ 所在地 : 埼玉県八潮市西袋717-1 連絡先 : 048-924-1131
試験体	1. 接合金物 商品名 : スピリットホールダウンSPH-30（出隅） 寸法 : 図2.1、図2.2参照 材質 : SGHC Z27 (JIS G 3302) t=3.2 表面処理 : 粉体電着塗装（黒色） 2. 接合具 皿頭スクリューねじ : $\phi 6.0 \times 90$ 6本 材質 : SWRCH18A (JIS G 3507) 表面処理 : Ep-Fe/Zn 5 (JIS H 8610)、 P -キック 黒色 クロム処理 スリムピン : $\phi 12 \times 90\text{mm}$ 3本 材質 : SWRM6 (JIS G 3505) 表面処理 : 電気亜鉛めっき (JIS H 8610) 丸座金 : $\phi 44$ t=4.5mm 材質 : SPHC (JIS G 3131) 表面処理 : 電気亜鉛めっき (JIS H 8610) 六角ナット : 1個 (JIS B 1180) 表面処理 : 電気亜鉛めっき (JIS H 8610) 座金付きボルト : 1本 材質 : 座金 SPHC (JIS G 3131) ナット (JIS B 1130) 表面処理 : 電気亜鉛めっき (JIS H 8610) 3. 使用軸組 柱 : 105×105×600mm 構造用集成材SPF(スプルース)E95-315 5層 土台（横架材） : 105×105×500mm 構造用集成材SPF(スプルース)E95-315 5層 4. 試験体数 : 7体（うち1体は予備試験体） 試験体の形状・寸法は図3.1、図3.2参照
試験方法	「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」に基づく （監修：国土交通省住宅局建築指導課，国土交通省住宅局木造住宅振興室）
試験結果	短期基準接合耐力 22.9kN
試験実施日	平成18年1月25日、28日、29日
試験実施場所	電源開発株式会社 技術開発センター 茅ヶ崎研究所 建設技術実験棟
担当者	研究員 中山一孝 試験員 伊藤和幸 試験員 原 孝志 試験員 鈴木香澄 試験員 森 大彦
備考	

証明書発行番号	HP06-KT009
証明書発行年月日	平成18年3月31日
証明書発行者	ハウスプラス住宅保証株式会社 （国土交通大臣登録住宅性能評価機関 国土交通大臣第4号） （国土交通大臣指定確認検査機関第9号）



ハウスプラス住宅保証株式会社



性能試験成績証明書

試験結果より当該申請金物が平成12年建設省告示1460号第2号表3に定めるもの※（必要耐力30.0kN）と同等以上の基準耐力を有することを認める

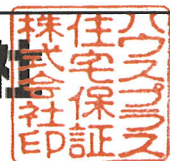
※（ぬ）（と）に掲げる仕口を2組用いたもの

試験名称	耐力壁が取り付く柱の仕口（アンカー型）引張試験
依頼者	株式会社 カナイ 所在地 : 埼玉県八潮市西袋717-1 連絡先 : 048-924-1131
試験体	1. 接合金物 商品名 : スピリットホールダウンSPH-30 寸法 : 図2.1、図2.2参照 材質 : SPHC (JIS G 3131) 2. 接合具 柱側 : ドリフトピン $\phi 12.0 \times 102$ 3本 材質 : SWRM6 (JIS G 3505) 横架材側 : 皿頭スクリューねじ $\phi 6.0 \times 90$ 6本 材質 : SWRCH18A (JIS G 3507) アンカーボルト : フィストアンカーボルト 材質 : SS400 (JIS G 3101) 3. 使用軸組 柱 : $105 \times 105 \times 600$ mm 構造用集成材SPF（スプルース） E95-F315 積層数5 横架材 : $105 \times 105 \times 300$ mm 構造用集成材SPF（スプルース） E95-F315 積層数5 4. 試験体数 : 7体（うち1体は予備試験体） 試験体の形状・寸法は図3.1、図3.2参照
試験方法	「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」に基づく （監修：国土交通省住宅局建築指導課，国土交通省住宅局木造住宅振興室）
試験結果	短期基準接合耐力 36.8kN
試験実施日	平成15年 12月15日、16日
担当者	研究員 中山一孝 技術員 木下 茂 技術員 亀山ジョージ 技術員 千葉 博
試験実施場所	電源開発株式会社 技術開発センター 茅ヶ崎研究所 建設材料実験棟
備考	・試験使用軸組には柱、横架材とも構造用集成材を用いている

証明書発行番号	HP03-KT033
証明書発行年月日	平成16年 1月 13日
証明書発行者	ハウスプラス住宅保証株式会社 （国土交通大臣指定住宅性能評価機関第16号） （国土交通大臣指定確認検査機関第9号）



ハウスプラス住宅保証株式会社



受付日：平成18年6月2日
受付番号：HP06-KT028

接合部金物試験証明書

試験結果は、本報告のとおりであることを証明する。
平成18年8月29日

東京都港区浜松町2-41-1
世界貿易センタービルディング26階
ハウスプラス住宅保証株式会社

試験体名称	スピリットホールダウン SPH-D30
試験依頼者及び住所	名称:株式会社 カナイ 住所:〒340-0833 埼玉県八潮市西袋717-1
試験の目的及び内容	1. 目的 「平成12年告示第1460号第2号表3」に相当する耐力を確認するために実施する。 2. 試験内容 耐力壁が取り付く柱の仕口(アンカー型)引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は「木造軸組工法住宅の許容応力度設計((財)日本住宅・木材技術センター 平成17年3月3版発行)」による。 3. 試験体 (試験体の詳細については別紙に示す) 1) 金物 スピリットホールダウン SPH-D30 材質:SPHC(JIS G 3131) 寸法:105×95×84mm t=3.2mm 表面処理:カチオン電着塗装(黒色) 接合具(木ねじ) ①皿頭スクリューねじ 6本 材質:SWRCH18A(JIS G 3507) 寸法:φ6.0×90mm 表面処理:Ep-Fe/Zn5(JIS G 8610) ベーキング、黒色、クロメート処理 ②スリムピン 3本 材質:SWRM6(JIS G 3505) 寸法:φ12×102mm 表面処理:電気亜鉛めっき(JIS H 8610) ③φ53丸座金 1個 材質:SPHC(JIS G 3131) 寸法:φ53 t=4.5mm×2 表面処理:電気亜鉛めっき(JIS H 8610) ④六角ナット 1個 材質:(JIS B 1180) 寸法:M16用 表面処理:電気亜鉛めっき(JIS H 8610) 2) 材料 柱:105×105×600mm 構造用集成材 SPF(スプルース)E95-F315 5層 横架材:105×105×250mm 構造用集成材 SPF(スプルース)E95-F315 5層
試験結果	短期基準接合耐力 39.8kN (詳細については3/30ページ以降に示す)
試験実施日	平成18年6月6日、7日
報告書作成者及び試験実施担当者	ハウスプラス住宅保証株式会社 評定部 山本 広 電源開発株式会社 技術開発センター 茅ヶ崎研究所 研究員 中山 一孝 試験員 伊藤 和幸、森 大彦、浅岡 恵子

この接合部金物試験証明書を転載するときは、必ず全文を記載してください。